＼コロナでくらしが大変　もっと温かい市政にしてほしい／

困っている人をほっとかない政治を

広がる世論に押され
動きだす対策

政治は変えられる

市政も
国政も

日本共産党筑西市委員会　生活相談責任者

こうだ　きくお
国府田 喜久男

1946年生まれ/下館一高卒業/日本コンクリート工業㈱勤務/全労連・全国一般　県初代執行委員長/下館労音財政部長/森添島自治員/五所地区自治員/社会福祉協議会五所支部長
現在　県西農民センター一朝市部長/県西食健連代表理事/日本共産党筑西市委員会生活相談責任者
趣味　里山・メダカ・ホタルなど自然を守る活動、カラオケ

コロナでわかった今の政治の弱点　　命も経済も

筑西市内でも高齢者施設でコロナのクラスターが発生。地域経済もほとんどの業種が被害者です。自己責任や自助を押し付ける今の政治はもう限界です。必要なのは、PCR検査の対象者拡大で無症状者の発見、保護、広く営業を守る補償など。厳しい世論に押されて対策が動きつつあります。国県市は命とくらしを守る予算をもっと増やすべきです。

身近な市政　チェックし良くするのは議会・議員の仕事

長引く不況のうえにコロナ。市民のくらしの先行きが不透明で不安がのしかかります。仕事と生活費、税金、養育費、病気や介護など困りごとを抱える人がますます増えるでしょう。多面的な支援が必要です。市長の市民を守る本気度を厳しくチェックし、一人の市民も放っておかない活動をしてまいります。

故鈴木議員と2人3脚で
病に倒れた鈴木さんのやり残した仕事を受け継ぐ

故鈴木さとし議員（左）と一緒に地域医療を調査して

鈴木さとしさんとは、鈴木さんが初めて議員に出たときに泊まり込みで応援してからの付き合いで、もう40年以上にもなります。彼の相談活動には誰もが感心し、地元後援会の熱い支えがあり、私もいつも一緒だったので「鈴木さんの秘書です」と半分冗談で自己紹介していました。

鈴木さんが病気で入院し、コロナで面会できずにいましたが、病状が進んだある日、奥さんだけが面会できて、その病室から私に電話がかかってきました。電話口で鈴木さんは「やり残したことがまだまだある」と涙声で語りました。

電話が切れてから、人に尽くしてきた鈴木さんの志の深さにあらためて驚き、心を打たれました。その志を誰かが引き継がなければならない。私もそのひとりにならなければ、と強く思いました。

民報ちくせい　2021年２月号外　　日本共産党の見解を紹介します。
発行／日本共産党筑西市委員会　筑西市玉戸31-1　☎0296-25-6511

私たちは、市長の市政運営に是々非々の立場です。
なんでも反対、なんでも賛成の立場はとりません。
良いことは推進、悪いことは批判し止めるため頑張ります。

困った時には共産党

コロナ支援の申請など
どんなことでも
ご相談ください

連絡先
日本共産党筑西市委員会
☎ 25-6511
国府田きくお 090-4074-8705
三浦ゆずる 090-5399-5854
石島いわお 090-4074-1190

強力な３名の議員団の回復で

故鈴木さとし議員の議席を回復し、３名の議員団を回復すれば、市民の相談も、多くの人の声を聴き議案提案権を使ってくらしを守る力も大きくなります。

左から三浦ゆずる 市議会議員　国府田きくお 生活相談責任者　石島いわお 市議会議員

日本共産党議員団の実績

コロナ支援制度の相談・申請でも頑張っています

☆高校生までのこどもの医療費無料化
☆学校給食費無料化に向けての補助の増額（現在月額１３００円補助）
☆給食食材の地産地消率のアップ
☆市内業者の仕事を増やす住宅リフォーム助成
☆定住促進のための住宅助成制度
☆議会改革のための議会基本条例の制定と推進

実現のためにがんばります

コロナ対策

- 高齢者施設などを重点に無症状者へのPCR検査拡大で、早期にクラスター発生防止
- 自粛と補償をセットで感染拡大対策
- 支援制度をきめ細かく知らせ申請を援助

人口減少

- 農商工の地場産業の連携強化で、仕事・雇用を増やし地域内にお金が循環することで所得を増やす
- それを推進する中小企業振興条例の制定と、実行組織としての国県市、地元経済団体、市民が参加する協議会をつくる

「困っている人をほっとけない」が信条です

その気持ちを政策として提案

滋賀県野洲市やその周辺では実施中で徴税率が上がっています

子育てから介護まで『なんでも相談課』の設置を

多くの人が救われます

一つの相談の背後には、子育てから介護、ジェンダー問題まで多くの困りごとがあります。
縦割りの窓口では対応しきれず、たらいまわしで泣き寝入りに…。
ワンストップ窓口は当然ですが、それだけでは解決できません。
市役所内だけでなく、外部の個人や支援団体などとも連携するネットワークの力で、一人一人に合った解決方法を一緒に考え、解決の見通しをつけ、回復、再起を支援します。
市役所としては税金の徴収率が上がります。

地域のみなさんといっしょに

自分が覚えた真竹のメンマの作り方を女性グループに頼まれ地元公民館で紹介（右から３人目）

常総市の水害にボランティアとしてかけつけました。避難者とボランティアの交流会で『そば打ち名人』として一日に５回麺打ちをやり、腕が痛くなりました。

太鼓好きで知られた国府田さん。地元の夏祭りでみなさんと楽しみました。

里山を守りメダカやホタルの保存に取り組む国府田さん。他市や他県のグループといっしょに関城の五郎助山で学びながら交流しました。